



とみすはら

令和3年3月1日 発行：富洲原地区社会福祉協議会 編集：ホームページ委員会

東洋紡績富田工場ってどれだけ大きかったの？

このページも明治・大正・昭和（戦前）と時代は進み、今回のテーマは戦後の富洲原です。当時の経済白書が、「もはや戦後ではない」と表現した昭和31年までの写真の中から、大変興味深い物を見つけました。

下の写真は戦後の日本経済を支えた繊維産業の雄、東洋紡績富田工場の昭和27年頃の航空写真です。

当時の日本は長い戦争からの解放感とは裏腹に物資不足で毎日の生活用品にも事欠く状況でした。そのような中でも富洲原の人々は、いち早く繊維産業の活況とともに未来に明るい希望と期待で胸をふくらませ歩み出しました。そして、機械が「ガチャ！」と動くたびに万単位の金が入ると言われた「ガチャマン景気」

が到来し、まちに活気があふれました。

東京ドーム5個分に相当する25万平方メートルの工場敷地内には、学校をはじめ社員寮や美容院、食堂、共同浴場などが立ち並び、三岐鉄道本社前の引き込み線が国道1号を横断して赤レンガ倉庫にまで達していたことを懐かしむ人もいるのではないでしょうか？

写真手前の真ん中あたりに海運橋が見えます。運河（現在の水と緑のせせらぎ広場）と見比べていただくと、工場の敷地の広大さがよく理解できますね。

産業界の移ろいは激しく、時は流れ平成13年（2001年）には、工場跡地にジャスコ（現在のイオン四日市北店）がオープンしました。



写真提供
飛行機ヨリ見タル東洋紡績富田工場
市内在住 南野 哲志さん
(昭和27年頃)

富洲原地区 R3/1/1現在

面 積

2.04 Km² (市内24地区で最小)

世帯数

3,885世帯

人口

8,558人 (男性4,234人・女性4,324人)

「夏まつり in 富洲原」のあゆみ

地域の皆さんのがれきいの場として、また未来を担う子どもたちには富洲原の夏の思い出として、長く記憶に残るよう、富洲原地区市民センターと北部児童館を会場に、「夏まつり in 富洲原」が2000年にスタートしました。当時から手づくり夜店や盆踊りで大いに盛り上がりました。

てきましたが、台風や新型コロナウイルスの影響で2018年からは3年連続で中止となっています。

今年こそ、3年分の思いも込めて盛大に開催できることを願って、これまでの夏まつりの様子を振り返ってみましょう！



会議の様子



みんなで
いろんな案を
出し合いました



会場前
いまか、いまかとみんなワクワク！



フライドチキン



千本引き



光るおもちゃ



フライングディスク



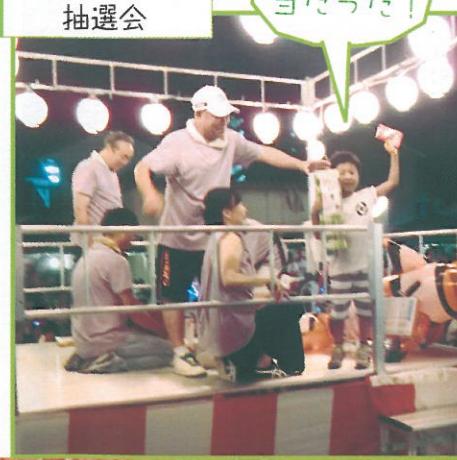
いろんなお店



みたらし



焼きそば



抽選会

わーい！
当たった！



↑夏まつりは中止になったけど
講堂で夏まつり大抽選会を行いました！
(2018年、2019年)

盆踊り



飛鳥クラブ



北部児童館
ソーランクラブ



保育園・幼稚園児



やぐらに
スペース
シャトルが！

こんなことも
ありました

早朝から並ぶのも楽しくて、
子どもたちの一一大イベントでした



前売りチケット販売



仮装大会



現連合自治会長や社協会長の姿も！

鈴木田さん
初代委員長 2000年～



酒井さん
2代目委員長 2009年～



各種団体の皆様
のお陰で開催す
ることができま
した。
この先も長く続
けていけること
を願っています。

3年連続中止と
なり残念でした
が、早く夏まつ
りができるよう
になって、子
どもたちの笑顔が
見たいと思いま
す。



こにゅうどうくんや
ピエロさんも遊びに来てくれました

シリーズ

鰹節問屋

有限
会社 だいまる

(富田一色)

昭和の富洲原



明治の中頃から富田一色では鰹節産業が盛んで、12軒ほどの問屋があったそうです。

かつては、天日干しした後の鰹節を、家の軒下でカビ落としている光景がよく見られたよう

ですが、今やだいまるさんほか、数軒の問屋が残るのみになりました。

左の写真は、現在の店構えですが、右の写真と比べると大きく時代の流れを感じられます。

令和3年2月

北警察署跡地に、「よっかいち防犯ステーション」

が開所しました。



《よっかいち防犯ステーション》

所在地：〒510-8015 四日市市松原町4-33-1

T E L : 059 - 361 - 3001

富洲原地区から北警察署が引っ越して、はや2年半が経過しましたが、その跡地に地域の防犯拠点施設が完成しました。

月曜から土曜までの週6日、午前11時30分から午後8時まで開館し、常駐する警察OB職員2名が地区的防犯活動に関する相談等に応じ、周辺地域のパトロール活動の拠点となります。

編集
委員

委員長 萩子 正明

副委員長 酒井 寛

委員 水谷 武彦 黒田 公雄

伊藤 則夫 福田 修二

中西 典子 水谷 雅寛